大阪ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号

大阪支社	〒550	大阪市西区千代崎3-2-95	☎(06) 586-3200
南部支社	〒590	堺市住吉橋町2-2-19	☎(0722) 38-1131
北部支社	〒569	高槻市藤の里町39-6	☎(0726) 71-0361
東部支社	〒578	東大阪市稲葉2-3-17	☎(0729) 62-1131
兵庫支社	〒650	神戸市中央区東川崎町1-8-2	☎(078) 360-3100
京都支社	〒600	京都市下京区中堂寺粟田町1	☎(075) 311-7381
奈良支社	〒631	奈良市学園北2-4-1	☎(0742) 44-1111
和歌山支社	〒640	和歌山市本町1-5	☎(0734) 31-2481
兵庫西支社	〒670	姫路市神屋町4-8	☎(0792) 85-2221
豊岡支社	〒668	豊岡市三坂町6-57	☎(0796) 23-2221
滋賀支社	〒525	草津市西大路町5-34	☎(0775) 62-5311
滋賀東支社	〒522	彦根市大東町12-11	☎(0749) 22-3131
長浜営業センター	〒526	長浜市南呉服町3-4	☎(0749) 62-7171
本社・ガスビル サービスセンター	〒541	大阪市中央区平野町4-1-2	☎(06) 202-2221

大阪ガス株式会社

おねがい

ガスくさいときは、ガス栓を閉め、窓を全開にしてから（火気に注意して）大阪ガス支社、サービスセンターにご連絡ください。

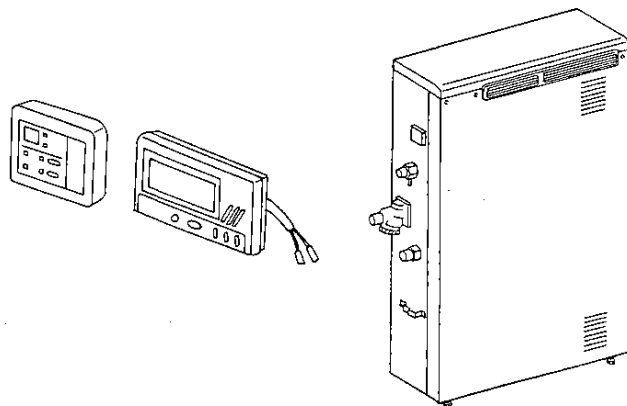
AY 0007

95.(01).(00)C

全自動タイプ

ガスふろ給湯器

31-044型

（BL認定品）型式名 TP-FQ165AZR-1

取扱説明書

ご使用前に必ずこの説明書をよくお読み十分に理解したうえで、正しくお使いください。別添の保証書とともに、この「取扱説明書」をいつでもご覧になれる身近なところへ大切に保管してください。
なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせください。

大阪ガス

ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのガスふろ給湯器(全自動タイプ)をお求めいただき、ありがとうございました。

※取扱説明書を紛失された場合は、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社へご連絡ください。その際、機器本体の定格銘板をご覧のうえ、型式名・製造年月をお知らせください。

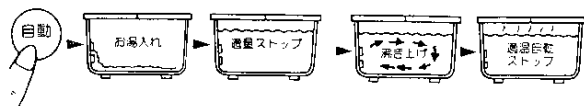
もくじ

特長・機能の紹介

■給湯もふろ沸かしもこれ１台でOKです。

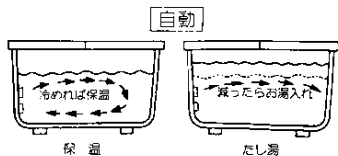
給湯器とふろがまを一体にした１台で２役のガスふろ給湯器です。

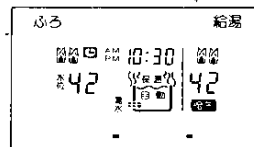
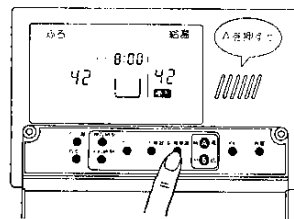
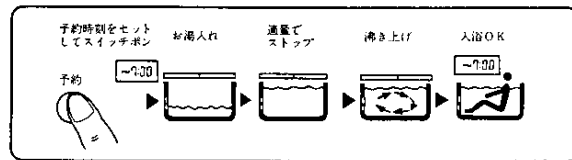
■スイッチ、ポンでおふろの沸き上げができます。(24ページをご覧ください。)

ふたをして、栓をして「自動」スイッチを押せば、あらかじめセットしておいた湯温、湯量で沸き上げます。
お湯の入れ過ぎ、沸かし過ぎがありません。

■上下の湯温差がありません。

浴そうのお湯はポンプによって循環しているので均一に沸き上がり、かきまわす必要がありません。

■湯温と水位は機器におまかせ。(28ページをご覧ください。)

「自動」スイッチを押しておけば、４時間はお湯が冷めれば自動で保温、
お湯が減れば自動で足し湯します。

■浴室リモコンは、見やすいカラー蛍光表示。

(14ページをご覧ください。)

■音声ガイドで、リモコン操作は簡単。

■お好きな時刻におふろに入れる予約タイマーがついています。（簡易完了予約）(34ページをご覧ください。)

（予約完了時刻は目安です。水温や浴槽の大きさにより、前後することがあります。）

■サーモミキシング機構を内蔵し、給湯断続使用時の湯温の安定性を向上させました。

安全に正しくお使いいただくために

表示について

この取扱説明書では、機器を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠ 警告　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、使用者等が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、使用者等が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

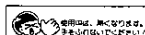
 一般的な禁止　 火気厳禁　 触れるな

 分解禁止　 必ず行う　 電源プラグを抜け

お願い　ご使用になるときは、よく理解していただきたい内容を示しています。

一口メモ　知っておいて欲しい内容を示しています。

(○○ページ)　文章中の（　）内のページは参照ページを示しています。

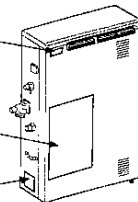
機器本体の表示について

やけど注意

排気口や周囲が高温になるためやけど注意を表示しています。

使用上のご注意

使用上の注意について表示しています。

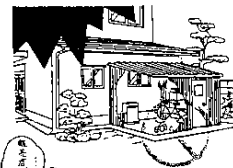
定格銘板

型式名・使用ガスの種類・製造年月・製造事業者等を表示しています。

必ずお守りください

安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください。

⚠警告

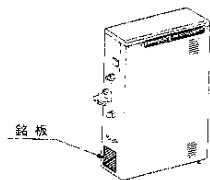
■機器設置（および付帯工事）

- ●屋外用機器を屋内に設置しますと、不完全燃焼をおこし、大変危険ですので絶対に屋内に設置しない。
- ●この機器は屋外設置形ですので、増改築などによって屋内状態にしない。また、排気口の前方に物を置いたり、設置後機器を波板などで囲いをしない。不完全燃焼の原因や火災のおそれがあります。
- ●機器の設置・移動および付帯工事は、お買い求めの販売店または大阪ガス支社に依頼し、安全な位置に正しく設置して使用する。設置工事に不備があると事故の原因となります。

■ガス漏れ時の処置

- ●ガス漏れに気づいたときは全ての処置が終わるまでの間、絶対に火をつけたり電気機器（換気扇その他）のスイッチの入・切や電源プラグの抜き差しおよび周辺の電話を使用しない。
  炎や火花で引火し爆発事故を起こすことがあります。
  ①すぐに使用をやめ、ガス栓を閉める。
  ②お買い求めの販売店または大阪ガス支社へ連絡する。

■使用ガス・使用電源について

- ●銘板（機器側面に貼付）に表示してあるガス（ガスグループ）および電源（電圧・周波数）以外では使用しない。表示以外のガスを使用すると不完全燃焼および爆発点火の原因となります。
- ○転宅されたときにも、供給ガスの種類と銘板のガスの種類の一致を必ず確かめてください。
- ○この機器はＡＣ100Ｖ、60Hz用です。
  お宅の電源の電圧と周波数が一致しているかお確かめください。

（銘板）

■電気事故防止

- ●この機器は、アースが必要ですので確認する。

ご使用前に

必ずお守りください

⚠警告

■火災予防

〔可燃物に注意〕

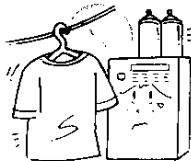
●機器および排気口の周囲に燃えやすいものを置かない。
火災の原因となります。

●排気口は洗濯物などでおおわない。
不完全燃焼の原因となります。

〔スプレー缶厳禁〕

●機器の周囲にスプレー缶を置かない。
熱でスプレー缶の圧力が上がり爆発のおそれがあります。

〔引火のおそれがあるものの使用禁止〕

●機器の周囲ではガソリン、ベンジン、スプレーなど引火のおそれのあるものを使用しない。
引火・爆発の原因となるおそれがあります。

■給湯・シャワーを使うとき

●お湯を止めたときに再使用するときや、お湯の量を急に少なくしたとき、あるいは万一、機器の故障の際には一瞬、熱いお湯が出ることがあります。やけどの危険性がありますので、出始めのお湯は手や体にかけない。

●シャワーを使うときに最初に熱いお湯が出ることがありますので十分注意する。

●シャワーを使うときは、あらかじめ手で温度を確かめてから使う。やけどのおそれがあります。

●シャワー、給湯の使用中は、使用者以外はお湯の温度を変更しない。突然、熱水や冷水が出て、熱水でやけどしたり冷水でビックリすることがあります。

■異常時の処置

●万一、異常な燃焼、臭気、異常音を感じたときは、すぐ使用をやめ、ガス栓・給水元栓を閉めて、お買い求めの販売店または、大阪ガス支社へ連絡する。

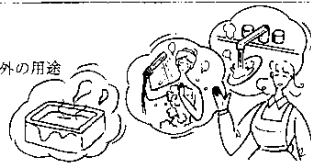
●地震、火災などの緊急のときは使用をやめ、ガス栓を閉める。

■入浴するとき

●浴槽の循環口の吸い込み口付近で水に潜ったりすると思わぬ事故につながることがあります。特に、小さなお子さまのいるご家庭ではご注意ください。

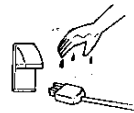
⚠注意

■用途についてのご注意

●台所・シャワー・洗面所などの給湯、おふろ沸かし以外の用途には使用しない。
思わぬ事故の原因となることがあります。

■やけどに注意

●機器の使用中、または使用後しばらくは排気口とその周辺が高温になっています。やけどの危険性がありますので、絶対に手を触れたりしない。特に小さなお子様のおられるご家庭ではご注意ください。

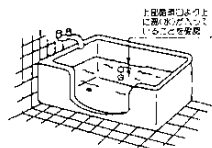
■感電事故防止

●電源プラグは、ぬれた手で絶対にさわらない。
感電するおそれがあります。

■電気事故防止

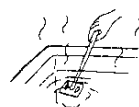
●電源プラグの差し込みは確実に行なうこと。プラグにほこりが付着していたり、差し込みがゆるいと感電や火災の原因になります。

●電源コードを引っぱってプラグを抜かないこと。コードを引っぱると断線して発熱や発火の原因となることがあります。

■空だき防止

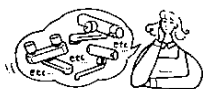
●「追いだき」スイッチを押すときは必ず浴槽の上部循環口より上に湯（水）が入っていることを確かめる。水位が上部循環口より低いときは、空だきのため機器故障、浴槽損傷や火災の原因となります。

■入浴時の注意

●追いだき中や追いだき後は浴槽水の上部と下部とでは相当の温度差がある場合があり、やけどの危険性がある。入浴時には十分かきまぜてください。

●入浴の際は、あらかじめ手で湯温を確かめてから入浴する。

必ずお守りください

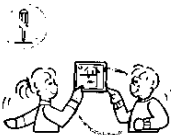
お願い

■市販の補助用具について

●事故防止のため、この機器の純正部品以外は使用しないでください。
●混合水栓をご使用になる場合は出口が絞られていないものを選定してください。
●水圧の低い地域では泡沫水栓を使用しないでください。（わからないときは、販売店に確認してください。）
●市販品の湯冷め防止器などは、使用しないでください。

■入浴時の注意

●浴槽の循環口をタオルなどでふさがないでください。循環不良でふろ沸かしができなくなったり、機器の故障の原因になります。

■リモコンについて

●リモコンは、分解しないでください。誤作動や故障の原因となります。
●リモコンには、水をかけないでください。浴室リモコンは、防水タイプですが故意に水をかけないでください。
●リモコンは子どもがいたずらしないように注意してください。

■凍結についてのご注意

●冬期には機器内の水が凍って機器が破損することがありますので凍結のおそれがあるときは37ページの「凍結予防方法」にしたがって処置をしてください。

■凍結したとき

●機器や配管が損傷しますと高額の修理費がかかります。（有料）
●凍結したままでは絶対に使用しないでください。
●再使用の場合は、凍結がとけた後全ての給湯栓から水が出ることを確認し、機器および配管から水漏れがないことを確認後、17ページ「初めてお使いいただくときに」の項以下の操作を行なってください。

■水の使用についてのご注意

●機器内に長時間たまった水は飲用や調理には用いないで雑用水としてお使いください。

■出湯のご注意

●出湯管にゴムホースを接続して他所へ給湯しないでください。設定湯温度、湯量が出ない場合や、途中で水漏れの原因になります。

お願い

■雷が発生しているときのご注意

●激しい雷により、一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。電源プラグをコンセントから抜きますと損傷を防止できます。
●5分以上電源プラグをコンセントから抜いた場合は、リモコンの各設定（給湯湯温・ふろ湯温・水位・現在時刻・予約時刻等）を行ない、表示を確認した後ご使用ください。

■雷が鳴った後、機器が作動しないとき

●落雷の際、お湯が出なくなった場合は機器内の漏電リレーが作動したことが考えられます。このようなときには、電源プラグを一度コンセントから抜き、再度差しこんでください。それでも使用できないときはお買い求めの販売店または、大阪ガス支社へご連絡ください。

■停電時や電源プラグを抜いたとき

●この機器は停電時や電源プラグを抜いたときは使用できません。
●停電時は給湯栓を閉めてください。
●再通電したときは、リモコンの設定（給湯湯温・ふろ湯温・水位・現在時刻・予約時刻等）を行ない、表示を確認した後ご使用ください。（5分以上の停電のときは再設定が必要です。）

■入浴時や洗剤についてのご注意

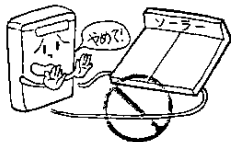
●強酸、強アルカリの洗剤および、硫酸を含んだ入浴剤は、機器の性能低下や熱交換器等が腐食原因となる場合がありますので使用しないでください。
入浴剤の説明文および含有成分等を十分確かめ、機器への悪影響がないものをご使用ください。
●乳白色や白濁する入浴剤のなかには、沈殿物が熱交換器にたまって異音を発生したり、フィルターやお湯の通路にたまって動作不良を起こすものがあります。沈殿物を生じないものでも熱交換器内で沸湯を起こし、異音を発生させるものもあります。このような入浴剤は、ご使用を避けてください。
●薬草やゆずを入れたり、薬草入り入浴剤を入れた場合は、薬草などがフィルターや機器内部につまってしまいますのでおやめください。
●塩素系のかび洗浄剤や酸性の浴室用洗剤、消臭剤または塩などが機器本体やガス管などにかかった場合はすぐに十分水洗いをしてください。

必ずお守りください

お願い

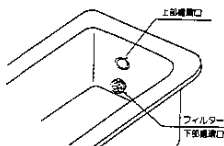
■用途についてのご注意

●本製品は家庭用ですので業務用にはお使いにならないでください。寿命が縮まります

●ソーラーとは絶対に接続しないでください。夏期にソーラーの水温が高くなったときは、お湯の温度制御ができなくなり、高温のお湯がそのまま出ます。やけどの危険性が高く、また機器の故障原因になります。

■日常の点検・手入れ

●日常の点検、手入れをしてください。(詳しくは40ページをご覧ください。)

●故障または破損したと思われるときは使用しないでください。このとき、ご自分で修理なさらずお買い求めの販売店または、大阪ガス支社へご連絡ください。

●フィルターはこまめに掃除してください。浴槽内の下部循環口のフィルターがつまってくると浴槽の湯温が不均一になったり、沸き上がる前に消火することがあります。

■長期間使用しない場合

●39ページの機器内の水を抜く方法により、水抜きを行なってください。水が長い間流れないと一瞬にごったお湯が出たり、冬期には凍結するおそれがあります。

■外出、就寝前のガス栓確認

●お出かけやおやすみになる前は、ガス栓を必ず閉めてください。

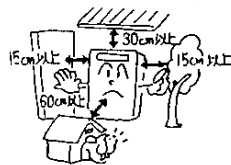
■ガス事故防止

●点火消火の確認

使用時の点火、使用後の消火の他、使用中も正常に燃焼していることを確認してください。

お願い　設置状態の確認

■可燃物との離隔距離

機器を設置する場所の周囲の壁、天井などが防火上安全なものであるか、または防火上有効な間隔をとることのできる場所に設置する。

■設置場所について

●設置場所をお決めになるときは近隣の家が騒音(燃焼音、燃焼用送風機、ポンプ回転音)で迷惑にならない場所に設置してください。

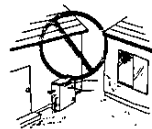
■給排気について

●機器は給気・排気が十分できる場所に設置してください。給排気が不十分な場所に設置すると不完全燃焼の原因となり危険です。

■塩ビ管の使用について

●給水・給湯配管に塩ビ管を使わないでください。
機器の使用直後に熱交換気の後沸きにより塩ビ管が破裂し、熱湯がふき出したり、多量の水漏れの原因になります。

■排気ガス

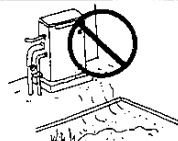
●排気ガスが直接建物の外壁やアルミサッシなどに当たらないよう、施工してください。外壁が変色したり、アルミサッシが腐食したりするおそれがあります。

■地下水、井戸水の注意

●地下水や井戸水を使用される場合は施工前に十分、水質を確認してください。水質によっては配管や機器を腐食させることがあります。

■塩害

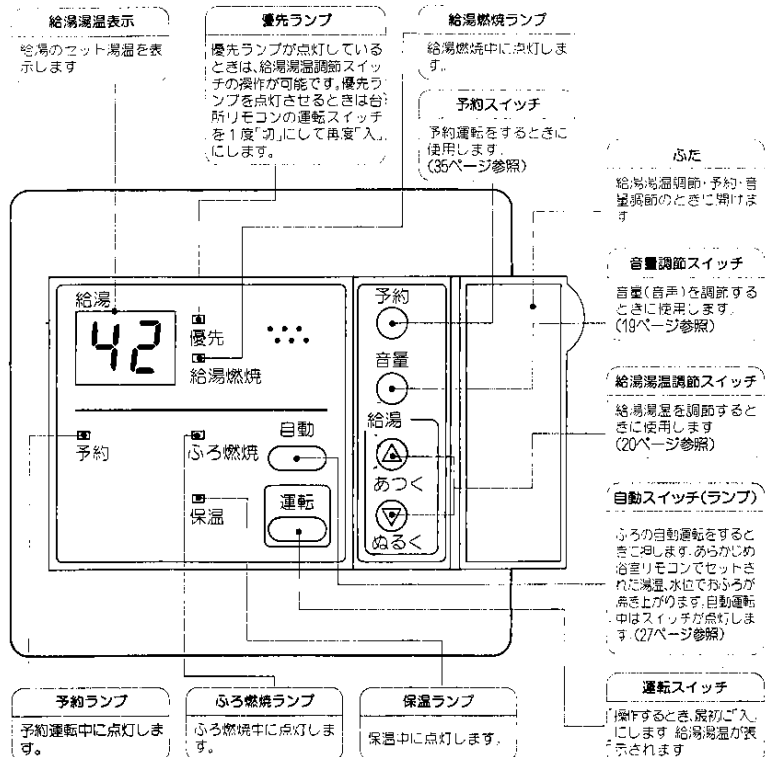
●海岸近くに設置する場合、機器が塩分を多量に含んだ雰囲気にさらされるときは、必要な防護処置をとってください。

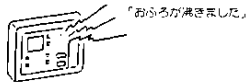
■ほこり

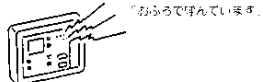
●砂や綿などのほこりの立ちやすい場所には設置しないでください。ほこりが排気口をふさいだり、燃焼用の送風機の性能を低下させ、不完全燃焼の原因となります。

各部の名まえと扱い方

■台所リモコン(台所等についています)(TP-MZ01)

〔注〕リモコンの画面表示は説明のためで、実際の運転状態を示すものではありません。

※台所リモコンには、「ふろ沸き上がりコール」などの音声報知がついています。

(ふろ沸き上がりコール)

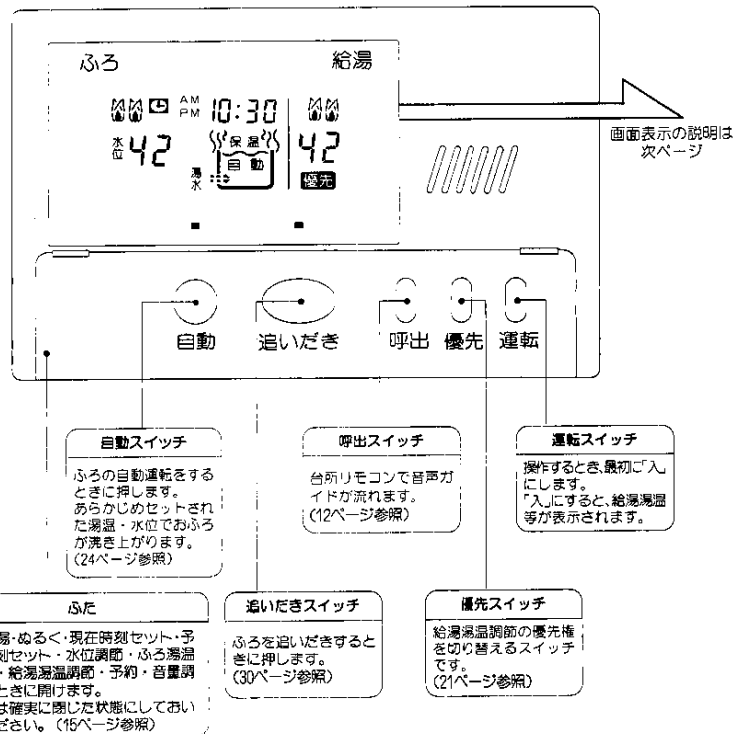
●自動でふろが沸き上がったとき

(呼出しコール)

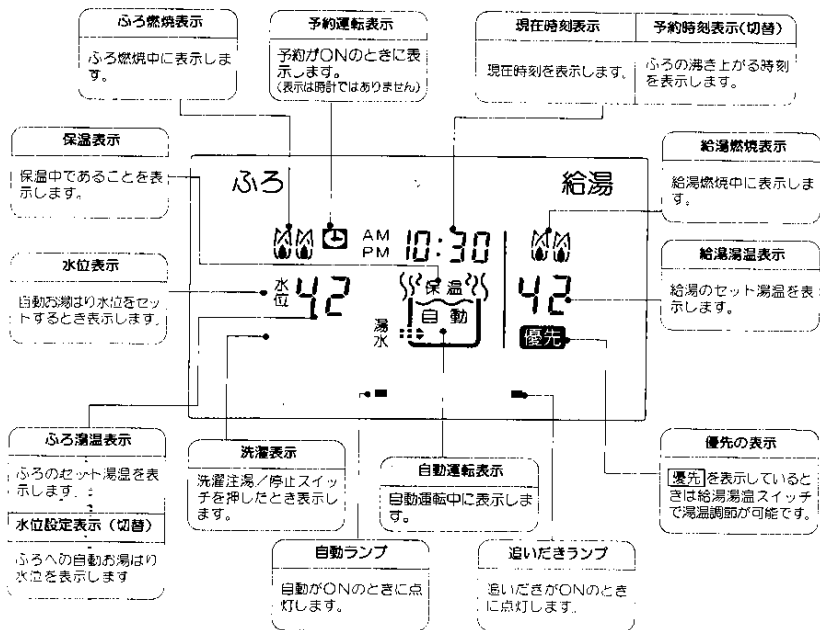
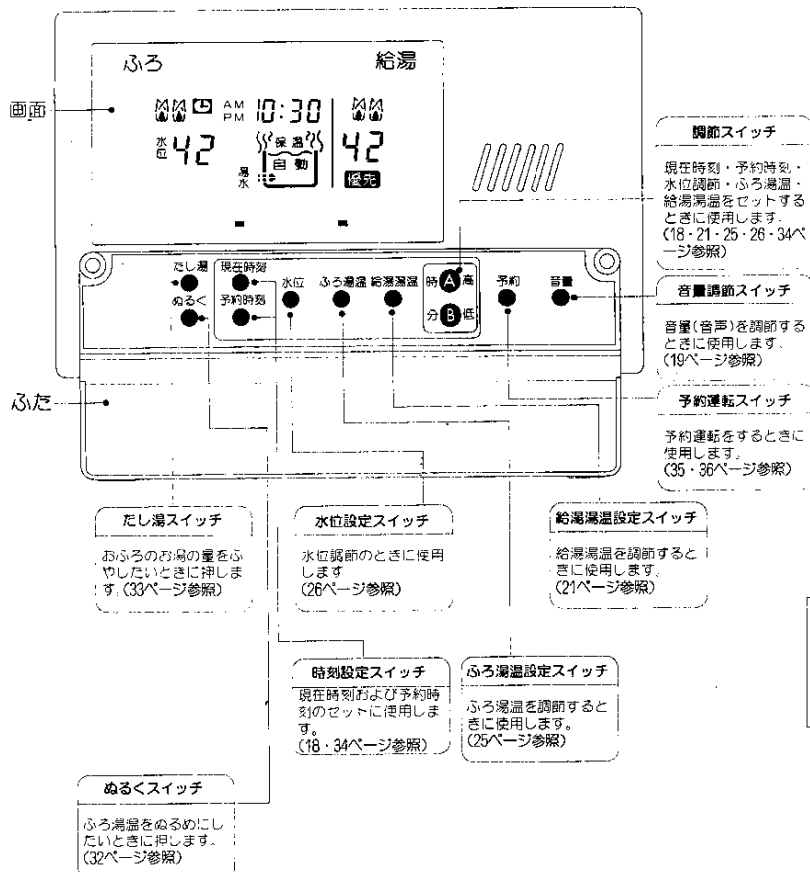
●おふろで「呼出」スイッチを押したとき。

■浴室リモコン(浴室についています)(TP-FZ02)

〔注〕●リモコンの画面表示は説明のためで、実際の運転状態を示すものではありません。

※浴室リモコンには、操作方法を知らせる音声ガイドが内蔵されています。

●通常はふたが確実に閉じた状態にしておいてください。

●リモコンの画面表示の中には、一部この機種で使用しない表示も含まれております。

各部の名まえと扱い方

■浴室リモコンの画面表示内容

補足説明		画面表示	操作説明の図
ふろ燃焼・給湯燃焼時	燃焼中は、左右に動きます。		
追いだき・たし湯動作時	上の矢印が動きます。		
自動運転の給湯動作時	上の矢印が動きます。		
ぬるくの動作時	下の矢印が動きます。		
自動運転の保温動作時	湯気が動きます。		

■浴室リモコン

●ふたを開けた状態

画面
ふた

ふろ　給湯
10:30
水位 42　保温　自動　42　優先

たし湯　現在時刻　水位　ふろ湯温　給湯湯温　時 A 高　予約　音量
ぬるく　予約時刻　分 B 低

調節スイッチ
現在時刻・予約時刻・水位調節・ふろ湯温・給湯湯温をセットするときに使用します。（18・21・25・26・34ページ参照）

音量調節スイッチ
音量（音声）を調節するときに使用します。（19ページ参照）

予約運転スイッチ
予約運転をするときに使用します。（35・36ページ参照）

たし湯スイッチ
おふろのお湯の量をふやしたいときに押します。（33ページ参照）

水位設定スイッチ
水位調節のときに使用します（26ページ参照）

給湯湯温設定スイッチ
給湯湯温を調節するときに使用します。（21ページ参照）

時刻設定スイッチ
現在時刻および予約時刻のセットに使用します。（18・34ページ参照）

ふろ湯温設定スイッチ
ふろ湯温を調節するときに使用します。（25ページ参照）

ぬるくスイッチ
ふろ湯温をぬるめにしたいときに押します。（32ページ参照）

使用方法

各部の名まえと扱い方

■機器本体

リモコン接続端子
給湯接続口(湯出口)
水抜き栓
(給湯側の水を抜くとき外します)
給水接続口(水入口)
水抜き栓
(給湯側の水を抜くとき外します)
ガス接続口(ガス入口)
電源プラグ・電源コード
台所リモコン
(付属品)
台所
リモコンコード
(別売品)
浴室リモコンコード
(付属品)
浴室リモコン
(付属品)
排気口
(排気が出ます)
フロントカバー

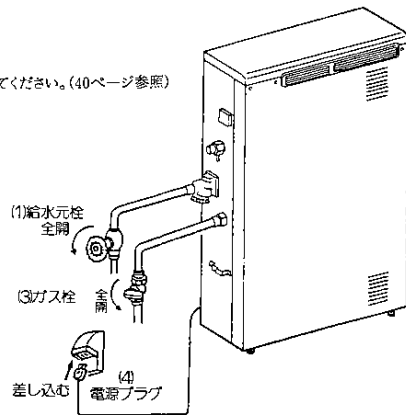
■浴槽

上部循環口
フィルター
下部循環口

初めてお使いいただくときに

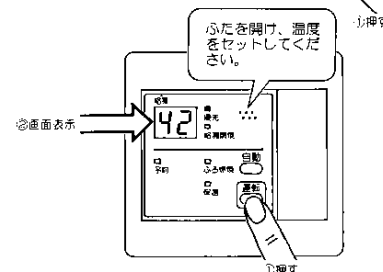
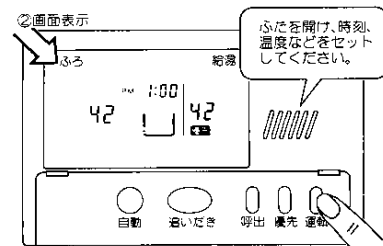
1 初めてお使いになるときはまず……

●機器および機器周辺の点検・確認を行ってください。(40ページ参照)

(1)給水元栓（機器の側面）を全開にします。
(2)給湯栓を開け、水の出ることを確認してから閉めます。
(3)ガス栓（機器の側面にあります）を全開にします。
(4)電源プラグ(機器の周辺にあります)を差し込みます。

2 リモコンの「運転」スイッチを押し「入」にします。

●リモコンから「音声ガイド」が2回流れます。

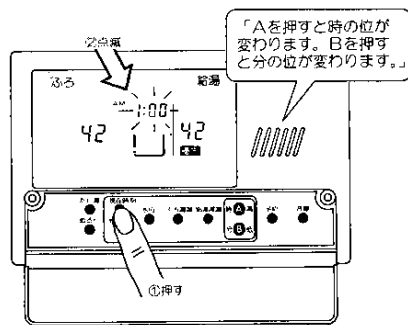
この音声ガイドは、電源を入れたときや停電復帰後など5分以上通電が止まった後、はじめて「運転」スイッチを押したときだけ流れます。

●お買い上げいただいたときの給湯湯温、ふろ湯温は42℃です。

使用方法

使用方法・現在時刻の合わせかた

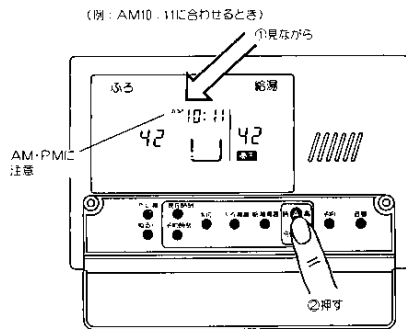
●「運転」スイッチがOFFでも操作できます。

1 リモコンのふたを開け
「現在時刻」スイッチを押します。

●現在時刻表示が点滅します。
●リモコンから「音声ガイド」が2回流れます。

2 現在時刻を合わせます。
AM(午前)・PM(午後)に注意して押してください。
スイッチを押し続けると連続的に数字が変わります。

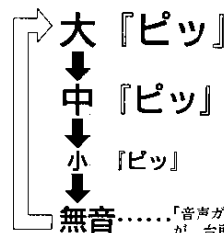
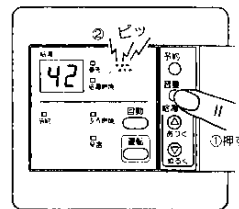
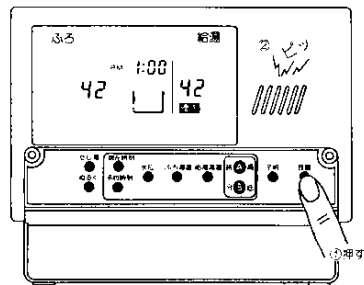
1.浴室リモコンの
「時Ⓐ高」スイッチを押して
時の位を合わせます。
「分Ⓑ低」スイッチを押して
分の位を合わせます。

2.「現在時刻」スイッチを押します。
●時刻表示の点滅が止まります。

3.ふたを確実に閉じます。

使用方法・音量調節のしかた

●リモコンからは、操作方法を説明する音声やブザーが流れます。音声の音量は浴室リモコン、台所リモコンそれぞれ独立していますので、好みに応じてそれぞれ調節してください。
●画面に表示が出ていること(「運転」スイッチが「入」)を確かめます。
表示が出ていないときは、「運転」スイッチを押します。

1 リモコンのふたを開け
1.「音量調節」スイッチを押します。

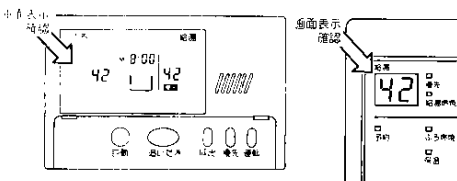
●1回押すごとに音量がかわります。
●音量判断のための「ピッ」音が鳴ります。

2.ふたを確実に閉じます。

自動運転終了時の浴室リモコンのブザーと台所リモコンのふろ沸き上がりコール及びスイッチ操作時の「ピッ」音の音量は、調節できません。

使用方法・給湯・シャワー

- 初めてお使いのときや、電源プラグを抜いたことにより5分以上通電が止まった後、再通電したときは給湯湯温表示が42℃となります。再度、セットしなおしてください。
- 通常、給湯湯温は「運転」スイッチを「切」にしても記憶されていますが、給湯湯温が60℃以上に設定されていた場合はやけど等の危険防止のため再度、「運転」スイッチを入れたとき、自動的に55℃に設定が変更されます。
- 60℃以上の湯温セットでのやけど防止のため、サーモスタット付混合栓の使用をおすすめします。
- 表示している湯温と給湯栓から出る湯温は配管の長さや外気温等により、必ずしも一致しません。目安としてお使いください。
- 自動運転中に出湯すると、ふろの設定湯温で出湯されます。自動運転が終了（音声でお知らせします。）した後、再度出湯したときに給湯の設定湯温に戻ります。

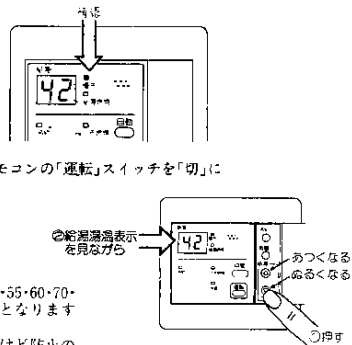
1 給湯湯温が表示されていること(「運転」スイッチが「入」)を確かめます。

- 表示が出ていないときは、「運転」スイッチを押します。

2 給湯湯温調節をします。

■台所リモコンで湯温調節をしたいとき

1.「優先ランプ」が点灯していることを確認します。

- 「優先ランプ」が点灯していないときは、台所リモコンの「運転」スイッチを「切」にして再度「入」にします。

2.「給湯湯温調節」スイッチを押し、湯温設定します。

- 湯温は、37・38・39・40・41・42・43・44・45・46・47・50・55・60・70・75℃の16段階設定です。50℃以上は、特に高温となりますのでご注意ください。
- 55℃以下の湯温で給湯・シャワー使用中は、やけど防止のため60℃以上には設定できません。
  60℃以上に設定するときは、一旦、出湯を停止してから行なってください。
  設定するときは、他の場所で使われていないことを確認してから行なってください。

ご注意

- シャワー使用中に優先の変更、および台所リモコンでの給湯湯温調節をしないでください。シャワーの温度が急に変わって危険です。
- 優先を切り替えしたとき、切り替え前のセット湯温が60℃以上であると、55℃に自動的にセットが変更されます。
- 「優先ランプ」が点灯していない時に「給湯湯温調節」スイッチを押すと、「運転スイッチを入れ直してから、温度をセットしてください」と音声ガイドが流れます。
- 自動運転中に「給湯湯温調節」スイッチを押すと警告音「ピッ…」（ピッが5回）が鳴ります。

■浴室リモコンで湯温調節をしたいとき

浴室リモコンの画面に

1.［優先］が表示されていることを確認します。

- ［優先］が表示されていないときは、「優先」スイッチを押します。

リモコンのふたを開け

2.「給湯湯温設定」スイッチを押します。

- 給湯湯温表示が点滅し、音声ガイドが2回流れます。

3.「調節」スイッチを押して湯温設定します。

給湯湯温を高くする→「時Ⓐ高」を押す。
給湯湯温を低くする→「分Ⓑ低」を押す。

- 湯温は、37・38・39・40・41・42・43・44・45・46・47・50・55・60・70・75℃の16段階です。50℃以上は、特に高温になりますのでご注意ください。
- 55℃以下の湯温で、給湯・シャワー使用中はやけど防止のため、60℃以上には設定できません。
  60℃以上に設定するときは、一旦、出湯を停止してから行なってください。設定するときは、他の場所で使われていないことを確認してから行なってください。
- 50℃以上に設定すると音声ガイドが2回流れます。

［台所リモコンで50℃以上に設定したときも音声ガイドが流れます。］

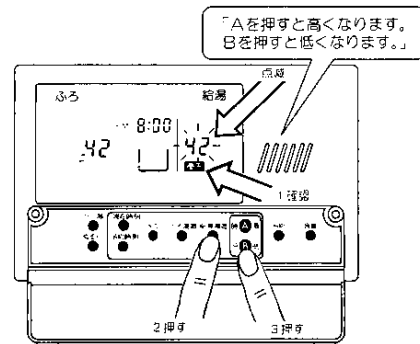
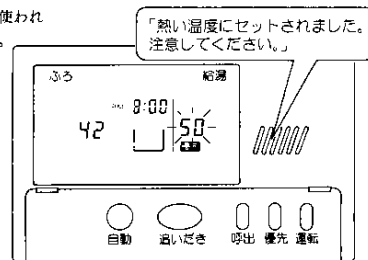
「熱い温度にセットされました。注意してください。」

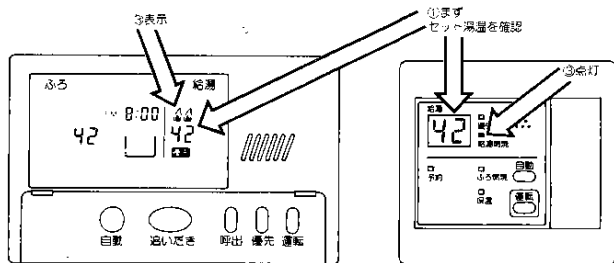
4.「給湯湯温設定」スイッチを押します。

- 給湯湯温表示の点滅がとまります。

5.ふたを確実に閉じます。

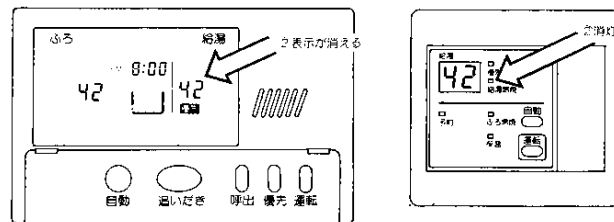
ご注意

- 浴室でシャワーを使用するときは浴室リモコンに［優先］を表示させ、給湯湯温表示を確認してください。浴室リモコンに［優先］が表示されているときは台所リモコンで、給湯湯温の調節はできません。
- 優先を切替えたとき、切替前のセット湯温が60℃以上であると、55℃に自動的にセットされます。
- 自動運転中に「給湯湯温設定」スイッチを押すと警告音「ピッ…」（ピッが5回）が鳴ります。

2 給湯栓を開けます。

●点火すると「給湯燃焼表示」（ ）が表示され（台所リモコンは、給湯燃焼ランプが点灯）しばらくしてお湯が出ます。

ご注意

●使いはじめは給湯配管の水が流れ出るまでしばらくお湯は出ません。
（配管長さにより、お湯が出るまでの時間が異なります。）
●セットしてある湯温が高温になっている場合もありますのでシャワー等をお使いのときは、手で湯温を確認してからお使いください。
●給湯栓を絞りすぎると（約2.5ℓ／分以下）熱いお湯が出たり、消火することがあります。
●夏期水温が30℃近くなると、低温にセットしても給湯栓から出るお湯の量が少ない場合には湯温が熱くなります。このような場合には給湯栓をさらに開けて湯温を多く出すか、水と混合してお使いください。
●冬期水温が低いときに給湯栓を全開にすると、60℃以上のお湯が出ないことがあります。60℃以上のお湯がほしい場合は給湯栓を絞ってお使いください。
●設定温度が55℃以下で給湯使用中に、60℃以上に温度を調節することはできません。60℃以上に調節しようとすると警告音「ピッ・・・・」（ピッが5回）が鳴ります。

3 給湯栓を閉めます。

●お湯が止まると「給湯燃焼表示」（ ）（台所リモコンは、給湯燃焼ランプ）が消えます。
（他の給湯栓で使用中だったり、自動で浴槽にお湯を入れているときは消えません。）

●給湯栓を閉めても機器の燃焼用のファンモーターがしばらく回転しますが、故障ではありません。

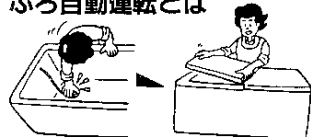
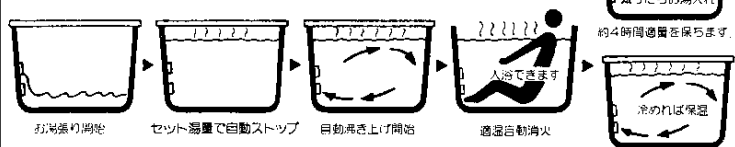
優先切替について

●危険防止のため、給湯湯温を調節できるリモコンは、どちらか一方に限られます。
優先があるリモコンで湯温調節できます。
●優先は、「優先」スイッチを押すごとに、浴室リモコンまたは、台所リモコンに切り替ります。
●浴室リモコンで「運転」スイッチを「入」にすると、浴室リモコンに優先の表示が表われ浴室リモコンで湯温の設定ができます。
●台所リモコンで「運転」スイッチを「入」にすると、台所リモコンに「優先ランプ」が点灯し、台所リモコンで湯温の設定ができます。

ご注意

●「運転」スイッチを「切」にした後、再度「運転」スイッチを「入」にすると、「運転」スイッチを「入」の操作をしたリモコンに「優先表示」または、「優先ランプ」が点灯し、優先を移すことができます。ただし、この方法で優先を切り替えると、他の機能の運転、たとえば自動運転（保温も含む）や、追いだき運転などが運転中だった場合、それらすべてが停止してしまいますので注意してください。

使用方法・ふろ自動運転

ふろ自動運転とは

●排水栓をして➡ふたをする！あとは「自動」スイッチを押すだけ。
次の動作を機器が自動で行ないます。

●お湯の入れ過ぎや沸し過ぎがなく、上下均一に沸き上がります。

1 運転前の準備をします。

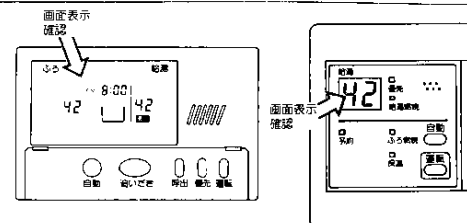
1.排水栓をします。
●おふろを沸かす前に必ず、排水栓をしてください。

2.浴槽にふたをします。
●この機器は浴槽にふたをしたままお湯張りができます。

ご注意
●排水栓をしわすれると、自動運転を開始してから約50分後、浴室リモコンに「032」が点滅（台所リモコンは、「03」と「ふろ燃焼ランプ」が点滅）し、運転が停止します。排水栓をして、一旦、「運転」スイッチを「切」にし、約５秒後に再度「運転」スイッチを「入」にして自動運転を行なってください。

●台所リモコンではふろ湯温と水位の設定はできません。浴室リモコンで行なってください。
●初めてお使いのときや、電源プラグを抜いたことにより５分以上通電が止まった後、再通電したときはふろ湯温表示が42℃、水位は40となります。再度セットしなおしてください。
●表示する湯温と表示する水位は、水温や水圧により実際とは異なる場合があります。目安としてお使いください。

2 リモコン画面に給湯湯温が表示されていること（「運転」スイッチが「入」）を確かめます。

●表示が出ていないときは、「運転」スイッチを押します。

3 ふろ湯温を設定します。

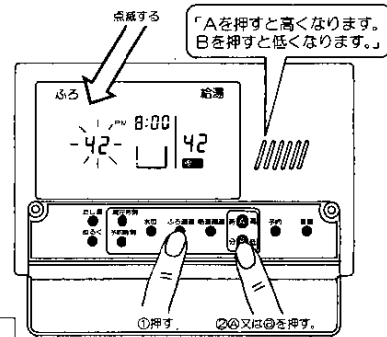
●２回目以後は記憶されますので、セットする必要はありません。

浴室リモコンのふたを開け

1.「ふろ湯温設定」スイッチを押します。

●「ふろ湯温表示」が点滅します。
●音声ガイドを２回繰り返します。

2.「調節」スイッチを押して湯温設定します。

ふろ湯温を高くする➡**「時Ⓐ高」を押す。**
ふろ湯温を低くする➡**「分Ⓑ低」を押す。**

調節範囲	37℃～39℃	40℃～43℃	44℃～48℃
	1℃ずつ		
ご使用目安	ぬるい	標　準	あつい

3.「ふろ湯温設定」スイッチを押します。

●「ふろ湯温表示」の点滅が止まります。

4 ふろ水位を設定します。

●２回目以後は記憶されますので、セットする必要はありません。

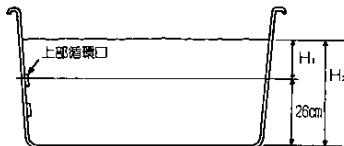
浴室リモコンのふたを開け

1.「水位設定」スイッチを押します。

●「水位」の表示がされ、水位の値が点滅します。
●音声ガイドが２回流れます。

2.「調節」スイッチを押して水位設定します。

水位を高くする➡**「時Ⓐ高」を押す。**
水位を低くする➡**「分Ⓑ低」を押す。**

●水位設定について

画面表示の値	
浴槽の底からの水位(H_2)	上部循環口からの水位(H_1)
54	28
52	26
50	24
48	22
46	20
44	18
42	16
40	14
38	12
36	10
34	8

（単位：cm）

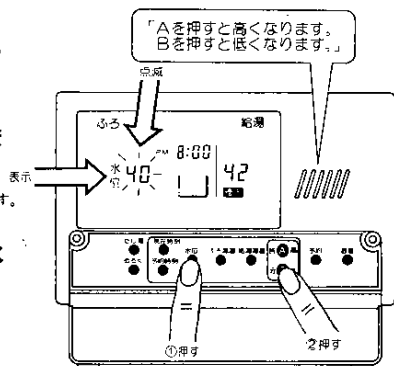
水位を示す数値(H_1)(H_2)はおよその目安です。
水温や水圧により異なりますのでご了承ください。

3.「水位」スイッチを押します。

●変更された水位の値が点灯し、ふろ湯温表示に戻ります。

4.ふたを確実に閉じます。

ご注意

●水位を示す数値(H数値)はおよその目安です。水温や水圧により異なりますのでご了承ください。
●(H_1)(H_2)は上部循環口の中心が浴槽の底から26cmを目安にしてあります。循環口の取付位置は浴槽の種類、材質および施工時の状況等により異なりますのでご了承ください。

5 「自動」スイッチを押します。

●台所リモコンでも操作できます。

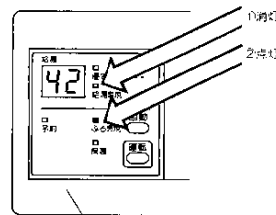
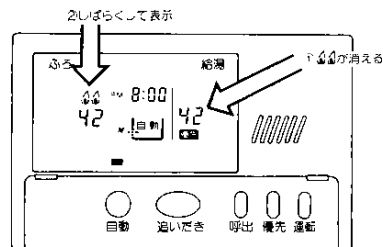
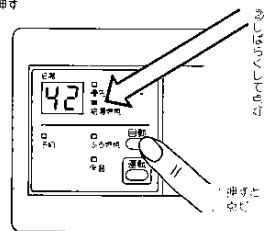
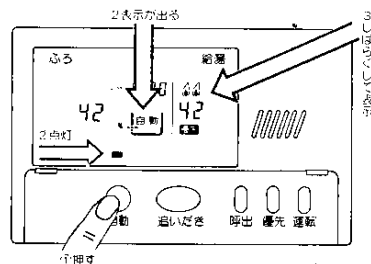
Ⓐ 浴室リモコン

●「自動ランプ」が点灯し、画面に「自動」が表示され、しばらくして「給湯燃焼表示」が表示されます。

Ⓑ 台所リモコン

●スイッチを押した後「自動でおふろを沸かします。」「おふろの栓をしましたか。」と音声ガイドが２回流れます。
●「自動」スイッチが点灯し、しばらくして「給湯燃焼ランプ」が点灯します。
●おふろの循環口からお湯が出てきます。
●設定水位に近づくと台所リモコンから「もうすぐ、おふろに入れます。」と音声ガイドが２回流れます。
以降は、ふろ給湯器が自動でおふろを沸かします。

1.設定水位までお湯張りしますと自動的に循環口から出ていたお湯が止まり、おふろの湯を循環して沸かし上げます。

●このとき「給湯燃焼表示」（台所リモコンは、給湯燃焼ランプ）が消えます。そして「ふろ燃焼表示」（台所リモコンは、ふろ燃焼ランプ）が表示されます。

使用方法・ふろ自動運転

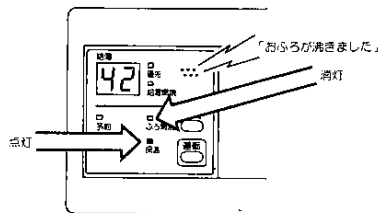
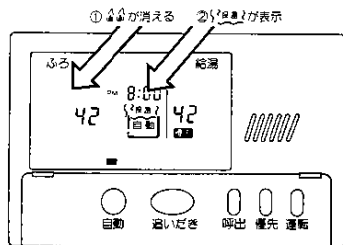
2. 台所リモコン、浴室リモコンが沸き上がったことを知らせます。

- ふろ湯温まで沸き上がりますと「ふろ燃焼表示」( ) (台所リモコンは、ふろ燃焼ランプ) が消えます。
- 浴室リモコンからブザーが鳴り、台所リモコンからは、「おふろが沸きました」と音声ガイドが2回流れます。
- 同時に「保温表示」が表示されます。これは、ふろの湯温と湯量を機器が見はっていることを表わしています。

おふろが沸き上がりましたので入浴できます。

- おふろのお湯を使うときは、手で湯かげんを確かめてから使ってください。
入浴する際も、湯かげんを手で確かめてから入浴してください。

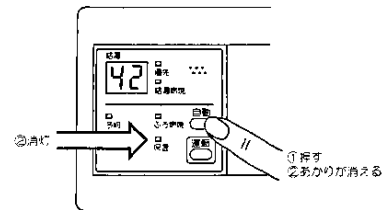
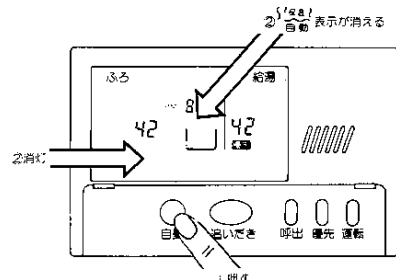
3. 自動的に約4時間水位と湯温を保ちます。

(浴室リモコンは、「自動ランプ」点灯
自動 表示。
台所リモコンは、(自動)・「保温ランプ」点灯。)

- 沸き上がりから約4時間は30分ごとにポンプがまわり、湯温を検知し、湯温が下がっていると自動的にセット湯温まで沸かし上げ保温します。
(ときどき「ふろ燃焼表示」( )「ふろ燃焼ランプ」が表示されます。)
また湯量がセット水位より約4cm以上減ると自動的に循環口からお湯が出て、セット水位までたし湯します。たし湯されるときは、給湯燃焼ランプが点灯します。
- 約4時間経過すると自動的に停止します。
(浴室リモコンは、「自動ランプ」消灯、
自動 表示が消え、
台所リモコンは、(自動)・「保温ランプ」消灯します。)

> **ご注意**
> - 自動お湯張り中、循環口からお湯が出たり止まったりし、また、「給湯燃焼表示」( )(台所リモコンは、給湯燃焼ランプ)がついたり、消えたりしますが、異常ではありません。
> - 自動お湯張り中、他で給湯栓を開くと、お湯は両方に分配されますので、お湯張り量が減り、お湯張り時間は長くなります。

6 自動運転・保温運転をやめたいとき

(1)「自動」スイッチを押します。

- どちらのリモコンでも操作できます。
- 「自動ランプ」が消灯し、自動 表示が消えます。(浴室リモコン)
- 台所リモコンは、(自動)・「保温ランプ」が消灯します。

7 沸かし直し

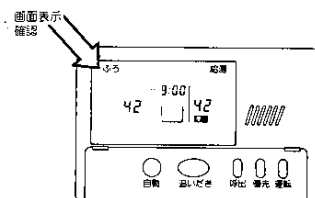
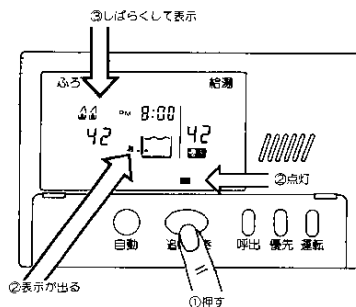
- 前日までの残り湯を沸かし直したいときは、「ふろ自動運転」とまったく同じ手順で行ないます。
セット水位より湯量が減っている場合は、セットした水位までたし湯したうえでセット湯温に沸かしあげます。

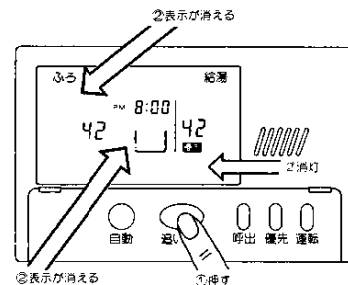
> (浴槽の水を排水するとき)
> - リモコンの運転スイッチが「入」のときに、ふろがま内にたまったゴミなどの掃除のために次の動作が行なわれます。
>
> 浴槽の水を排水するときに、水位が上部循環口より下がってから、5分後に給湯設定温度で約1分間、自動的に浴槽へ注湯されます。(ただし、リモコンの運転スイッチが「切」のときは行なわれません。)

使用方法・追いだき

追いだき運転とは
●入浴時、おふろのお湯がぬるくなって、もっと熱くしたい時に操作します。

ご注意
●浴槽の循環口より上に湯(水)があるとき操作してください。

1 浴室リモコンで操作します。
リモコン画面に
給湯湯温が表示されていること(「運転」スイッチが「入」)を確かめます。
●表示が出ていないときは、「運転」スイッチを押します。

2 浴室リモコンの
「追いだき」スイッチを押します。
●画面に「追いだきランプ」が点灯し、が表示され、しばらくして、「ふろ燃焼表示」( )(台所リモコンは、ふろ燃焼ランプ)が表示されます。

ご注意
●浴槽の上部循環口より、上に湯(水)があるとき操作してください。上部循環口より上に湯(水)がない状態で「追いだき」スイッチを押しますと、浴室リモコンに「042」が点滅(台所リモコンは「04」と「ふろ燃焼ランプが点滅)し、運転が停止します。この場合は、一旦「運転」スイッチを「切」にし、約5秒後に再度「運転」スイッチを「入」にして「自動」スイッチを押してください。

3 お好みの湯かげんになったら
「追いだき」スイッチを押します。
●「追いだきランプ」が消灯し、 と「ふろ燃焼表示」( )(台所リモコンは、ふろ燃焼ランプ)が消えます。

●停止の操作をしない場合は、自動的に停止します。ただし、沸き上りの湯温は2通りとなります。
1．前日の沸かし直しの場合は、設定温度で停止します。
2．保温中など、おふろの湯温がほぼ設定湯度かそれ以上のときは、現在湯温＋2℃(例えば、現在湯温42℃の場合44℃)で停止します。

●さらにあつくしたいときは
もう1度「追いだき」スイッチを押します。お好みの湯かげんになったらもう1度「追いだき」スイッチを押してください。

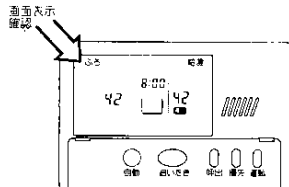
使用方法・ぬるく

ぬるく運転とは

- おふろのお湯をぬるくしたいときに操作します。
- 約12ℓ水を入れてから自動停止し、その後約1分間のかくはんを行ないます。
  この操作によりおふろがぬるくなります。
- もっとぬるくしたいときは、もう一度「ぬるく」スイッチを押してください。

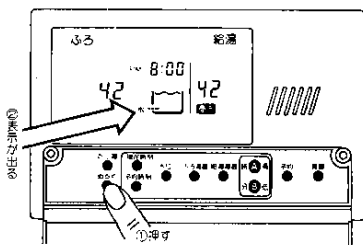
1 浴室リモコンで操作します。
リモコン画面に

給湯湯温が表示されていること(「運転」スイッチが「入」)を確かめます。

- 表示が出ていないときは、「運転」スイッチを押します。

2 浴室リモコンのふたを開け

「ぬるく」スイッチを押します。

- 画面に水 が表示され、しばらくしておふろの循環口から水が出てきます。

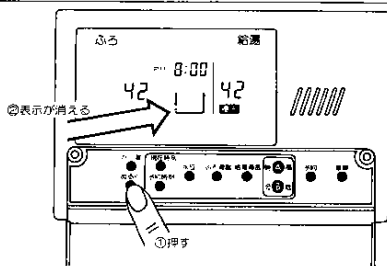
ご注意

- 自動運転中（終了ブザーが鳴り終るまで）は、「ぬるく」スイッチは使用できません。
（スイッチを押すと、警告音「ピッ………」（ピッが5回）が鳴ります。

3 お好みの湯かげんになったら

「ぬるく」スイッチを押します。

- 水 表示が消えます。

［ぬるく停止の操作をしない場合は、約12ℓ水を入れ続けてから自動停止し、その後30秒間のかくはんを行ないます。かくはん後、水 の表示が消えます。］

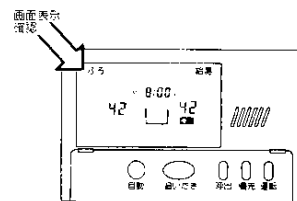
- ふたを確実に閉じます。

使用方法・たし湯

たし湯運転とは

- おふろのお湯の量を増したいときに操作します。
- 「ふろセット湯温」のお湯が約4cm、おふろにたし湯されます。

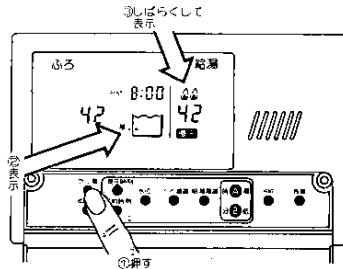
1 浴室リモコンで操作します。
リモコン画面に

給湯湯温が表示されていること(「運転」スイッチが「入」)を確かめます。

- 表示が出ていないときは、「運転」スイッチを押します。

2 浴室リモコンのふたを開け

「たし湯」スイッチを押します。

- 画面に湯 が表示されしばらくしておふろの循環口から湯が出てきます。このとき「給湯燃焼表示」( )(台所リモコンは、給湯燃焼ランプ)が表示されます。

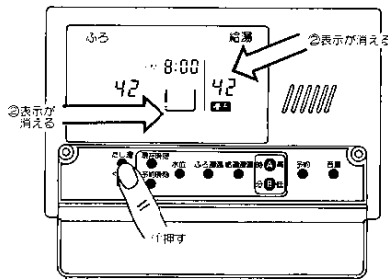
ご注意

- 自動運転中（終了ブザーが鳴り終るまで）は、「たし湯」スイッチは使用できません。

3 お好みのお湯入れ量になったら

「たし湯」スイッチを押します。

- 湯 表示が消え、「給湯燃焼表示」( )(台所リモコンは、給湯燃焼ランプ)が消えます。

［たし湯運転停止の操作をしないときは、約4cmたし湯し、その後自動的に約30秒間のかくはんを行ないます。かくはん後 湯 の表示が消えます。］

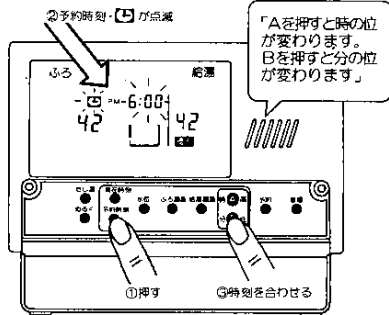
- ふたを確実に閉じます。

使用方法・ふろの予約時刻の合わせ方

- 「運転」スイッチの入切に関係なくセットできます。
- リモコンの表示画面の現在時刻が合っているか確認してください。現在時刻が合っていない場合は18ページを見て合わせてください。
- 予約時刻は沸き上げが完了する時刻です。（簡易完了予約）

1

浴室リモコンで操作します。
浴室リモコンのふたを開け

「予約時刻」スイッチを押します。

- 「予約時刻」が表示され、時計の数字 ⏲ が点滅します。
- 音声ガイドが2回流れます。

2

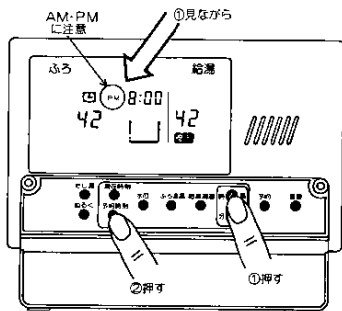
予約時刻を合わせます。

AM（午前）・PM（午後）に注意して押してください。
スイッチを押し続けると連続的に数字が変わります。

1.浴室リモコンの「時Ⓐ高」スイッチを押して**時の位**を合わせます。
「分Ⓑ低」スイッチを押して**分の位**を合わせます。

2.「予約時刻」スイッチを押します。

- 時刻表示の点滅が止まり、3秒後現在時刻に変わります。

3.ふたを確実に閉じます。

使用方法・ふろの予約運転

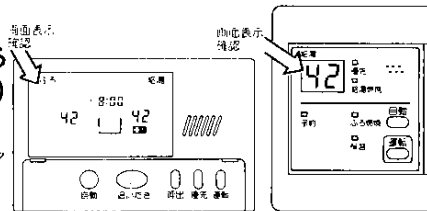
おふろ沸かし予約運転とは
- 予約時刻をセットしておけばその時刻に入浴できるよう、機器が自動でおふろを沸かします。
（どちらのリモコンでも予約運転できます。）

- 浴槽の排水栓が閉まっていることとふたをしてあることを確認してください。
- 現在時刻、予約時刻を確認してください。
- ふろの湯温設定・水位設定を確認してください。
- セットした予約時刻は記憶されていますので入浴する時刻が決っているときは予約時刻を毎日セットする必要はありません。
- 予約運転で、おふろを沸かしたときは保温・たし湯動作はしません。

1

リモコン画面に

給湯湯温が表示されていること（「運転」スイッチが「入」）を確かめます。

- 表示が出ていないときは、「運転」スイッチを押します。

2

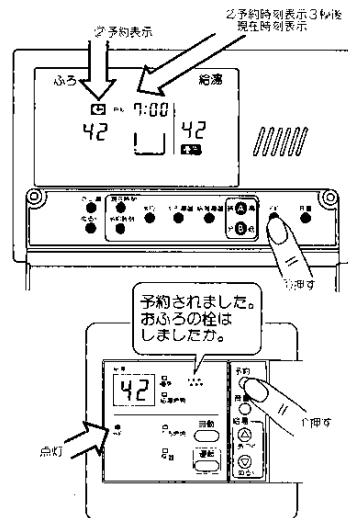
リモコンのふたを開け

1.「予約」スイッチを押します。

- ⏲ が表示されます。
（台所リモコンは「予約ランプ」が点灯し、音声ガイドが流れます。）
- 予約時刻が表示されますが、3秒後には現在時刻表示に変わります。

2.ふたを確実に閉じます。

- 予約表示が表示された後は、「運転」スイッチを「切」にしても、予約運転をします。このとき ⏲ と現在時刻のみ表示されます。（台所リモコンは「予約ランプ」点灯。）
- 予約時刻の約40分前からふろ自動運転が始まり、予約時刻にはおふろに入れます。（簡易完了予約）

水温や浴槽の大きさにより、お湯はり完了時刻が前後することがあります。

2 ■予約を取り消したいときは

(1)「予約」スイッチを押します。

- ● の表示が消えます。(台所リモコンは、「予約ランプ」が消灯します。)
- ●すでに自動運転がはじまり、自動の表示がされているときは、「自動」スイッチを押します。自動の表示が消えて運転が停止します。

■保温とたし湯動作が必要なときは、

(1)「自動」スイッチを押します。

- ●予約運転でおふろを沸かしたときは、保温・たし湯動作はしません。

■予約時刻を確認したいときは、

(1)「予約時刻」スイッチを押します。

- ●予約時刻表示が点滅しますので確認してください。

■予約時刻を変更したいときは、

- ●「ふろの予約時刻の合わせ方」と同じ操作で変更できます。(34ページ参照)

ご注意

- ●自動・追いだき・たし湯・ぬるく運転中は「予約」スイッチは、操作できません。
- ●予約をセットした後、「追いだき」・「たし湯」・「ぬるく」・「自動」スイッチを押すと予約が解除されますのでご注意ください。
- ●停電や電源プラグを抜いたことにより、5分以上通電が止まった後、再通電したときは、現在時刻や予約時刻が初期設定時間(現在時刻;AM 1:00、予約時刻;PM 6:00)になりますので、再セットが必要です。(18ページ、34ページ参照)
- ●予約した後に停電があると、予約が解除されます。(おふろ沸かしをしません。)

使用方法・凍結予防方法

冬期の凍結による破損予防の方法は

- ●機器が凍結すると、給湯ができないばかりでなく水漏れ故障の原因になります。
- ●この機器の凍結予防方法は次の3つのケースでやり方が変わります。

①凍結予防装置による方法
②水を流す方法
③機器の水を抜く方法(入居前や長期不在の場合)

1 凍結予防装置による方法

- ●この機器は、気温がさがってくると自動的に機器内を保温する凍結予防ヒーターがついています。通常は機器の電源プラグをコンセントに入れた状態にしておけば、機器内の凍結は予防できます。
- ●自動凍結予防装置は「運転」スイッチの「入」・「切」に関係なく作動します。
- ●浴槽の残り湯は捨ててください。
- ●電源プラグがコンセントに差し込まれていることを確認してください。

お願い

- ●電源プラグがコンセントから抜かれていると作動しませんのでご注意ください。
- ●この方法では、給水・給湯配管、給水元栓などの凍結予防はできませんので必ず保温材や電気ヒーターを巻くなどの措置をしてください。
- ●次の朝、お使いになるときは給湯栓を開けて、水が出ることを確認してから運転スイッチを「入」にしてください。

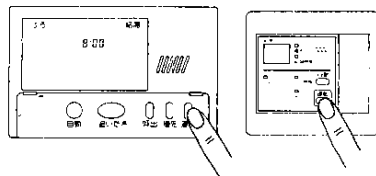
ご注意

- ●凍結予防装置が凍結を予防できるのは外気温マイナス15℃程度までですので特に寒いときや寒波などが予想されるときは、はやめに「水を流す方法」「機器の水を抜く方法」による凍結予防の処置を行ってください。
- ●機器内の凍結は予防できても配管は凍結することがありますので、配管は必ず保温材で被覆してください。

2 水を流す方法

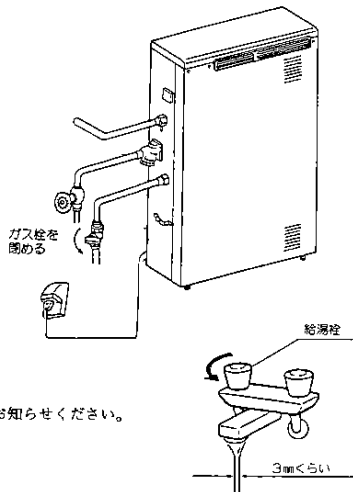
●この場合は、機器本体だけでなく給水給湯配管・バルブ類の凍結予防もできます。

■給湯側の凍結予防

①「運転」スイッチを「切」にします。

②ガス栓を閉めます。

③浴室の給湯栓を開け、1分間に約200cc（牛乳ビン1本ぐらい）を流し続けます。
流量が不安定なことがありますので、念のため30分ぐらい後にもう一度流量を確認してください。

給湯栓

3㎜ぐらい

お願い

●家の人に凍結予防のために水を流していることをお知らせください。
水を止めると凍結します。

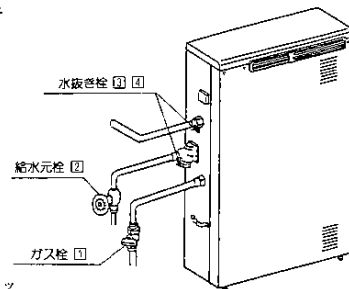
■ふろ側の凍結予防

●浴槽の残り湯は捨ててください。

3 機器の水を抜く方法（入居前や長期不在の場合）

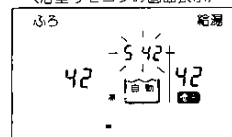
●長期不在等で家の電気ブレーカーを「切」にする場合や電源プラグを抜く場合には、この水抜き凍結予防方法によります。

①ガス栓①を閉めます。
②給水元栓②を閉めます。
③すべての給湯栓を全開にします。
④浴槽の水を排水します。
⑤水抜き栓③④を外します。

水抜き栓 ③ ④
給水元栓 ②
ガス栓 ①

⑥浴室リモコンの「運転」スイッチ、「自動」スイッチを順に「入」にし、画面にアラーム番号「542」が点滅するまでそのままにします。

〈浴室リモコンの画面表示〉

⑦電源プラグを抜きます。
●以上の操作で機器内の水は排出されますので、次にお使いになるまでそのままにしておいてください。

⑧機器を使用するときは逆の順序で行ないます。給水元栓を開き、水漏れがないか確認してください。

凍結したときは

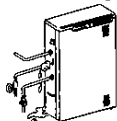
●凍結した場合、ガス栓・給水元栓を閉めてください。凍結したまま運転操作をしますと機器に異常が生じる場合があります。運転スイッチ「切」の状態で給湯栓を開けて水が出てくればご使用になれます。
●通水したら、一旦水漏れがないことを確認のうえ、ご使用ください。
●機器や配管が破損しますと高額の修理費用がかかる場合があります。（有料）

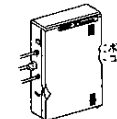
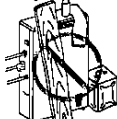
点検・お手入れ

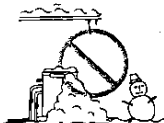
●点検・手入れの際のご注意

●安全にお使いいただくために、点検・お手入れを必ず行なってください。
●お手入れの前にはガス元栓を閉め、電源プラグを抜き、機器が冷えてから行なってください。
●機器のフロントカバーを外さないでください。
（機器およびリモコンは絶対に分解しないでください。）

●点　検

●機器および配管より水漏れはありませんか。
水漏れは、機器の故障だけでなく、お隣や階下のお客様にも多大な迷惑をかけます。

●機器の外観に異常は見られませんか。

●運転中に機器から異常音が聞こえませんか。

●機器のまわり、および排気口のそばに燃えやすいものはありませんか。

●排気口への積雪や、屋根から落ちた雪により排気口が閉塞されていませんか？

機器が不完全燃焼することがあります。積雪時には排気口の点検、除雪を行ってください。
屋根から落ちた雪が排気口を閉塞するおそれがある場合はお買い求めの販売店または、大阪ガス支社に連絡し、設置場所を変更してください。

●給湯栓の先端に泡沫器が内蔵されているものについては、ときどき内部のフィルター（金網）を掃除してください。フィルターがつまりますと、お湯の量が少なくなり、点火しないことがあります。

●お手入れ

●本体が汚れたとき

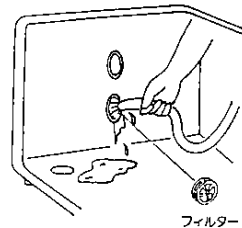
布または、スポンジに台所用洗剤（中性洗剤）をつけてふきとってください。
中性以外の洗剤やベンジン、シンナーなどでふくと塗料が変色することがあります。
ベンジン、シンナーなどではふかないでください。

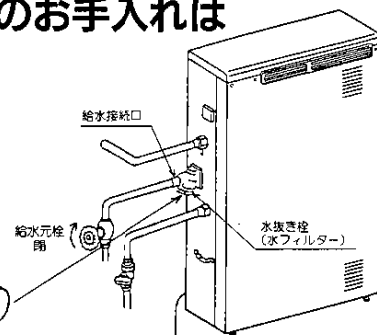
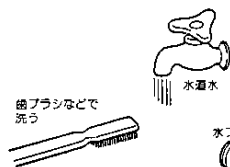
●リモコンが汚れたとき

水をつけた布をかたく絞り、軽くふきとってください。
洗剤、ベンジン、シンナーなどではふかないでください。
（注）台所リモコンには水をかけないでください。
リモコン内に水が入り故障の原因となります。
（浴室リモコンは防水です。）

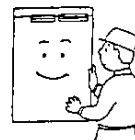
ふろがま内および浴槽フィルターの清浄について

●ふろがま内に湯アカがたまってくると、沸き上がり時間が長くなったり沸き上がる前に消火することがあります。浴槽内の上部循環口の湯止めキャップと下部循環口のフィルターカバーを外してから交互にホースで水を強く注ぎ、ふろがま内の湯アカを掃除してください。
●フィルターの掃除も行なってください。
フィルターは、左に回してから手前に引けば外れます。

フィルターは必ず取り付けてご使用ください。フィルターをつけないで運転するとポンプ等の故障の原因となります。

●給水側水フィルターのお手入れは

つぎの要領で定期的に行なってください。
(1)給水元栓を閉めます。
(2)給水接続口にある水フィルターを外します。
(3)水フィルターを洗います。

(4)水フィルターをもとにもどします。

●点検・お手入れ後の確認

●点検・お手入れの後は、ガス栓を開いて、運転スイッチを「入」にして給湯栓を開き、機器が正常に作動していることを確認してください。
万一、異常な燃焼・臭気・異常音を感じられたときは、使用を中止し、ガス栓を閉めてお買い求めの販売店または、もよりの大阪ガス支社へご連絡ください。

●定期点検のおすすめ

●ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年1回程度の定期点検をおすすめします。お買い上げの販売店にご連絡ください。
●ふろがまが古くなると熱交換器やバーナーにサビやスス、ほこり等がつまったりします。また取り付け場所によりバーナーに「くも」が巣をはることがあります。このような場合不完全燃焼を起すことがあり、ときどき使用中に異常（異常音、排気に不快な臭い、目にしみる等）がないか確認してください。異常に気づかれた場合は使用を中止し、ガス栓を閉めてお買い上げの販売店またはもよりの大阪ガス支社へご連絡ください。

故障かな?と思ったら

1度確認してください

ご使用に、ふだんと違った状態になったときや不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、ただちに使用を中止され、十分な点検をしてください。

現　　象	点　検　項　目	
画面に表示が出ない	電源プラグがコンセントに差し込まれていますか	(17ページ)
	停電していませんか	(9ページ)
アラーム番号「032」「542」が点滅(台所リモコンは、「03」「54」と「ふろ燃焼ランプ」が点滅)し、作動しない	給水元栓が全開になっていますか	(17ページ)
	断水していませんか	
	おふろの排水栓はしっかりはまっていますか	(24ページ)
「給湯燃焼表示」( )、「給湯燃焼ランプ」(台所リモコン)が点灯しないお湯が出ない	ガス栓が全開になっていますか	(17ページ)
	給水元栓が全開になっていますか	(17ページ)
	断水していませんか	
	給湯栓が十分開いていますか	(22ページ)
高温のお湯が出ない 低温のお湯が出ない	給湯栓が十分開いていますか	(22ページ)
	温度調節は適切ですか	(20・21ページ)
	混合水栓やサーモミキシングバルブをお使いの場合は、リモコンの給湯湯温を60℃以上にセットしてください	
「ふろ燃焼表示」( )、「ふろ燃焼ランプ」(台所リモコン)が点灯しない	ガス栓が全開になっていますか	(17ページ)
	浴槽に水が入っていますか	
おふろ使用中に消火した	ガス栓が全開になっていますか	(17ページ)
浴そうの水があつい(ぬるい)	ふろ湯温のセットは適切ですか	(25ページ)
浴そうの水が少ない(多い)	お湯入れ量のセットは適切ですか	(26ページ)
アラーム番号「632」が点滅(台所リモコンは「63」と「ふろ燃焼ランプ」が点滅)し、作動しない	浴槽のフィルターがつまっていませんか	(40ページ)
アラーム番号「042」が点滅(台所リモコンは「04」と「ふろ燃焼ランプ」が点滅)し、作動しない	浴槽に水が入っていますか	(30ページ)

●このほかに異常があるときや、おわかりにならないときは、「浴室リモコンにアラーム番号が表示されたとき」(44ページ)の項目を参照してください。

次のような場合は故障ではありません

現　　象	原　因　と　対　策
給湯栓を絞りすぎて水になった	この機器は流水量2.5ℓ/㎜以下になったときには消火します。
夏期水温が高いとき低温のお湯が出ない	夏期など、水温が高いときに低温のお湯を少量得ようとすると、湯温が高くなります。給湯栓をもっと開いて出湯量を多くすれば湯温は安定します
お湯が白く濁って見える	これは水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、大気圧まで急速に減圧されることで細かい泡となって出てくる現象です。ビール、サイダー等の泡と似た現象であり汚濁とは違って、まったく無害なものです。
寒い日排気口から白煙が出る	外気温が低いときには排気ガスの水蒸気が白煙となりますが、故障ではありません。
給湯栓を開いてもすぐお湯が出てこない	機器から給湯栓までは距離がありますので、お湯が出てくるまでには、少し時間がかかります。
出湯停止後しばらくファンの回転音がする	再使用時の点火をより早くするため約1分間は回転しています。
自動スイッチを押した後お湯入れがときどき停止する	浴槽の中に正確にお湯入れをするための作動です。
運転終了後もしばらくポンプが回る	「ぬるく」・「自動」・「追いだき」・「たし湯」運転終了後、かくはんのためポンプがしばらく回ります。
時計表示が合っていない	停電後、再通電すると表示画面の時計表示がAM1:00になります。なお、水位・湯温表示・予約時刻も初期状態になりますので再設定してください。
保温中ときどきポンプが回る	浴槽の湯温を検知するため30分毎に回ります。

故障かな?と思ったら

浴室リモコンにアラーム番号が表示されたとき

●不具合が生じたとき、その原因をアラーム番号でお知らせします。原因に応じて表示部にアラーム番号が表示点滅し、自動的に運転を停止します。
●アラーム番号が表示・点滅したときは、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社へ修理を依頼してください。その際は、表示されているアラーム番号もお知らせください。
(例) 12：15 (時計表示) →１１１ (アラーム表示)

アラームNo	内容	処置方法	使用状態
032	注湯時間異常	おふろの排水栓を確認後リセット※	自動・追いだき
042	空だき水位異常	修理を依頼する	追いだき
101	自己診断能力ダウン		給湯・自動・たし湯
111	給湯側点火不良	ガス栓確認後リセット操作※	給湯・自動・たし湯
112	ふろ側点火不良	ガス栓確認後リセット操作※	自動・追いだき
121	給湯側失火		給湯・自動・たし湯
122	ふろ側失火		自動・追いだき
140	空だき安全装置作動、元電磁弁回路不良		給湯・自動・たし湯・追いだき
311	出湯温サーミスタ断線		給湯・自動・たし湯
312	ふろサーミスタ断線		自動・追いだき
321	入水温サーミスタ断線		給湯・自動・たし湯
331	混合温サーミスタ断線		給湯・自動・たし湯
391	サーモカップル異常		給湯・自動・たし湯
432	水位センサー異常		自動
510	元電磁弁故障		給湯・自動・たし湯
511	給湯電磁弁故障		給湯・自動・たし湯
512	追いだき電磁弁故障		自動・追いだき
542	注湯電磁弁異常	修理を依頼する	自動
561	バイパス水電磁弁異常		給湯
611	給湯ファン回転異常		給湯・自動・たし湯・追いだき
612	ふろファン回転異常		給湯・自動・たし湯・追いだき
632	ポンプ異常		自動・追いだき
651	水制御弁異常		給湯
700	電装基板故障		
711	給湯電磁弁回路不良		給湯・自動
712	ふろ電磁弁回路不良		自動・追いだき
721	給湯側プリ・ポスト不良		給湯・自動・たし湯
722	ふろ側プリ・ポスト不良		自動・追いだき
760	リモコン通信異常		
991	自己診断燃焼異常		給湯・自動・たし湯

＊台所リモコン・増設リモコン（別売品）は、簡易表示のため、アラーム番号の左側２桁を表示・点滅します。給湯側の場合は、アラーム番号と給湯燃焼ランプが同時に点滅します。ふろ側の場合は、アラーム場合とふろ燃焼ランプが同時に点滅します。ただし、アラームNo140、510、700、760の場合は、燃焼ランプは、点滅しません。
※リセット操作：「運転」スイッチを一度「切」にし、約５秒後再度運転スイッチを「入」にする。

●安全装置の種類とその働き

●この機器には次の様な安全装置が組み込まれています。

●立消え安全装置（フレームロッド方式）…バーナーが正常に燃焼しないとき作動し、ガスを自動的に停止します。

●空だき安全装置（バイメタル式）…熱交換器が空だきしたときに作動し、燃焼を自動的に停止します。

●空だき防止装置（水量センサー・水流スイッチ）…熱交換器内に水がないとき、ガス通路を開けず空だきにならないようにします。

●過熱防止装置（温度ヒューズ）…機器内部の雰囲気温度が異常に高くなったとき作動し、燃焼を自動的に停止します。

●過圧防止安全装置（スプリング式）…機器内の水通路内部の圧力が異常に高くなったとき作動し、圧力を水通路外に逃します。

●漏電安全装置（漏電リレー）…万一漏電した場合、電源を「OFF」にする装置です。

●送風検知装置（回転数検知方式）…燃焼用ファンモーターが正常に回転しないとき作動し、燃焼を自動的に停止します。

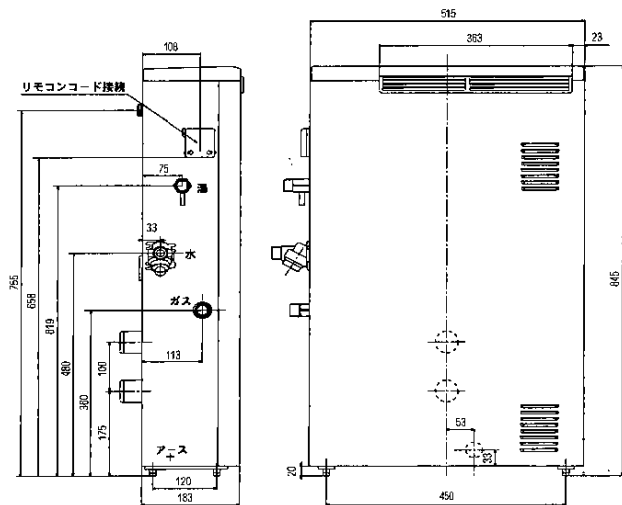
●凍結予防装置（電気ヒータ＋ポンプ運転）…機器内の雰囲気温が低下すると作動、機器内の凍結を防止します。

●誘導雷保護装置（サージアブソーバー）…雷等による一時的な過電流・過電圧が発生した場合、電子部品を保護します。

一口メモ

●このふろ給湯器の給湯能力は、16号です。
（１号とは、水温より25℃上げたお湯を１分間に１ℓ出す能力をいいます。
16号とは、水温より25℃上げたお湯を１分間に16ℓ出す能力をいいます。）
●アラーム番号〝101〟のときは自己診断機能により給湯能力がさがります。(16号から約12号に)
使用はできますが十分な給湯能力が出ない状態ですので修理を依頼してください。
（自己診断機能とは、ふろ給湯器のガスの燃焼が異常になった場合にその燃焼を正常にしようとする機能をいいます。自己診断機能が働いても燃焼が正常にならない場合は自動的に運転を停止します。）

寸法図

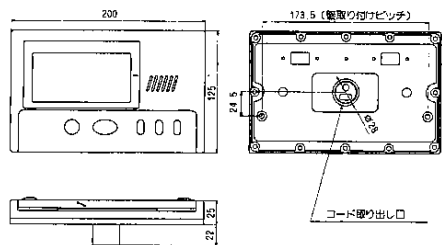
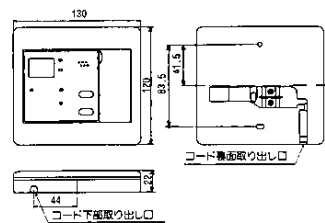
■機器本体　〔31－044型〕

（単位：mm）

■浴室リモコン

（単位：mm）

■台所リモコン

（単位：mm）

仕様

項目			LPG	都市ガス（13A）
品名			31-044型	
型式名			TP-FQ165AZR-1	
ガス種			LPG	都市ガス（13A）
外形寸法（mm）			幅515×奥行183×高さ845	
重量（kg）			35	
標準ガス消費量（kW）	給湯側		34.9 {2.5kg/h}	34.9 {30,000kcal/h}
	追いだき側		11.6 {0.83kg/h}	11.6 {10,000kcal/h}
	同時使用		46.5 {3.3kg/h}	46.5 {40,000kcal/h}
出湯能力（ℓ/min）（ガス消費量最大時）	上昇温度	25℃	16.0	16.0
		40℃	10.0	10.0
		50℃	8.0	8.0
温度調節	給湯側	浴室リモコン	温度設定可変型	
		台所リモコン	温度設定可変型	
	ふろ側		温度設定可変型	
点火方式			AC100V連続放電式（ダイレクト着火）	
最低作動水圧（kPa）			19.6 {0.2kgf/cm²}	
材質	本体外装／塗装		溶融亜鉛メッキ鋼板/粉体焼付塗装	
	排気部／給気部		ステンレス鋼板/溶融亜鉛メッキ鋼板	
	熱交換器／バーナー		脱酸銅/ステンレス鋼板	
接続	ガス		15A（R1/2）オネジ	
	給水・給湯		15A（R1/2）オネジ	
	循環パイプ		Ø45×2	
電気関係	電源		AC100V（60Hz）	
	リモコン側		24V以下	
	消費電力	無負荷時	20W以下	
		同時使用	100W	
		凍結予防時	電気ヒーター120W	
安全装置安全			給湯側水流検知（水流センサー） 立消え安全装置（フレームロッド方式） 空だき安全装置（バイメタル式） 凍結予防装置（電気ヒーター） 漏電安全装置（漏電リレー）	過熱防止装置（温度ヒューズ） 給湯側送風検知装置（回転数検知方式） ふろ側送風検知装置（回転数検知方式） 給湯側過圧防止安全装置（スプリング式） 誘導雷保護装置（サージアブソーバー）
日水協認可登録番号			共L-1126	

◎出湯能力は計算値です。
◎ガス：JISに規定する標準ガス・標準圧力のとき。
◎本仕様は改良のためお知らせせずに変更することもあります。

保管とアフターサービス

■長期間使用しない場合

- 長期間使用しない場合は次の操作をしてください。
  (1)ガスの元栓を閉じる。
  (2)給水元栓を閉じる。
  (3)電源プラグを抜く。
  (4)機器の水抜きを行なう。（水抜き方法は39ページを参照してください。）

■アフターサービスについて

サービスを依頼されるときは

①まず「故障かな？と思ったら」をご確認のうえ、なお異常のあるときはお買い求めの販売店または大阪ガス支社にご連絡ください。

②アフターサービスをお申しつけのときは、次のことをお知らせください。

1. ご住所・お名前・電話番号・道順（付近の目印等）
2. 品名…31-044型（右のようなラベルを機器のフロントカバーに貼付けてあります。）
3. 現象……できるだけ詳しく
4. 訪問ご希望日

（例）

(N)31-044(U)
大阪ガス株式会社 08

転居される場合

- ガスの種類には、都市ガスとＬＰガスとがあり都市ガスにはガスグループの区分があります。ガスの種類、ガスグループの区分が異なる地域または電源周波数の異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類、ガスグループの区分や電源周波数を確認のうえ、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。この場合、調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。
  ただし、ガスの種類や電源周波数によっては調整できない場合もあります。

保証について

- このガスふろ給湯器には保証書がついています。
- 保証書に記載のように、ガスふろ給湯器の故障について修理いたします。詳しくは保証書をごらんください。
- 保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。
- 保証期間経過後の修理については、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。修理によって性能が維持できる場合は有料修理します。

補修用性能部品の最低保有期間について

- 補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）の最低保有期間は製造打切後10年です。
  その後の修理は、補修用性能部品がなくて、修理ができない場合がありますのでご了承ください。